

1. キャンプファイヤーについて

暗闇の中、参加者全員で火を囲み、セレモニーや催し物をおこなうことで、自然の神秘や、友情・協力の大切さ、宿泊体験の楽しさを感じることができます。昔から行われている「火祭り」的なキャンプファイヤーもひとつの形として定着していますが、小さな火をみんなで囲んで静かに歌ったり語り合ったりするのが本来の姿です。

2. 準備

○当日まで

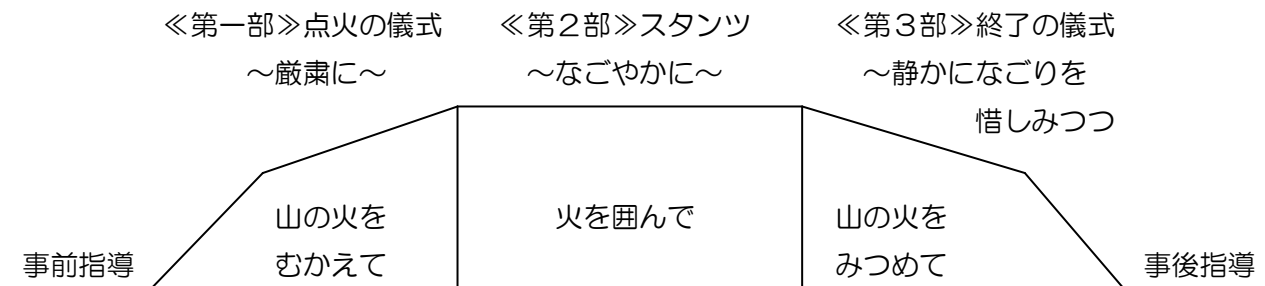
- ・係決め・・・①火の神（1名）、②火のミコ（1名）、③火の守（3～5名）、④司会者（1～2名）
⑤ファイヤーキーパー（大人1～2名）
- ・点火の儀式、消火の儀式の練習
- ・第2部の内容決めと練習

○当日

- ・薪を井桁に組む（自然の家職員もいっしょに）
- ・トーチ、灯油、衣装（自然の家にあります）
- ・音響機器のセッティング

3. プログラム

○3部構成



4. 後片付け

○当日

- ・燃え残った薪を中央に集めて、ふたをかぶせておく
- ・トーチの消火を確認して、灯油とともに薪小屋に返却

○翌朝

- ・燃え切った灰を集め、一輪車で灰捨て場に捨てる
- ・営火場中央のレンガ部分を掃除する

5. 展開例

≪第一部≫ 点火の儀式

プログラム	司会のことば	備考
1. 入場		・中央の井桁を囲むように、一列で静かに入場する
2. 点火の儀式	・今からキャンプファイヤーを始めます ・みんなで「遠き山に日は落ちて」を歌いましょう	・全員で「遠き山に日は落ちて」を歌う ・2番からはハミング
3. 火の神、火のミコの入場		・「遠き山に日は落ちて」がハミングになったら、点火したトーチを持った火のミコ、その後ろに火の神の順でゆっくりと入場し、井げたの周りを1周して定位置につく
4. 開会の言葉	・点火の儀式です ・火の神よりお言葉をいただきます	・
5. 誓いの言葉	・火の守は火の神の前に並んでください ・火の神から火を受け取ってください	・火の守は自席から中央に出て、火の神の前に並ぶ ・火の神「お前には〇〇の火を授ける」 ・順番に一礼して自分のトーチに火をもらい、誓いの言葉を言う ・火の守「わたしは、～します」
6. 点火	・それぞれの火を受け取りました ・それでは、点火です	・火の守は、井桁の四方に立ち、合図で井桁に火をつける
7. 燃えろよ燃えろ	・炎の歌「燃えろよ燃えろ」を歌いましょう	
8. 火の神、火のミコ、火の守退場	・これで、点火の儀式を終わります	・炎の歌を歌っている間に、火のミコ、火の守は退場する ※ 実情に応じて、火の神も退場してもよい

《第二部》 スタンツ

《第三部》 終了の儀式

プログラム	司会のことば	備考
1. 終了の儀式	<ul style="list-style-type: none"> ・あんなに大きかった火が小さくなりました。今日のキャンプファイヤーも終わりが近づいてきました ・終了の儀式です 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員起立 ・火の神、火のミコは、火のついていないトーチを持って定位置につく
2. トーチへ火を移す	<ul style="list-style-type: none"> ・火のミコが山の火をトーチに移します 	<ul style="list-style-type: none"> ・火のミコは中央の火をトーチに移す
3. 火の神による閉会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・火の神よりお言葉をいただきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出を胸に残すような短い言葉を述べてもらう。
4.	<ul style="list-style-type: none"> ・火の守は火の神の前に並んでください ・火の神から火を受け取ってください 	<ul style="list-style-type: none"> ・火の守は火の神の前に並び ・順番に一礼して自分のトーチに火をもらい、井桁の四方に立つ
5. 別れの歌	<ul style="list-style-type: none"> ・別れの歌「 」を歌いましょう 	
6. 火の神、火のミコ退場	<ul style="list-style-type: none"> ・これで、キャンプファイヤーを終わります 	<ul style="list-style-type: none"> ・火の神、火のミコ、火の守は退場し、出口で退場者を見送る